

# 「袴田さんに年金給付を」

## 支援者ら 議連に救済措置申し入れ

静岡地裁の再審開始決定を受け釈放された元プロボクサー袴田巖さん(78)の姉秀子さん(81)が9日、国会内で超党派の「袴田巖死刑囚救援議員連盟」会長の塩谷立衆院議員(自民、静岡8区)ら議連所属議員と面会し、感謝の言葉を述べた。支援者たちは巖さんが年金給付を受けられる救済措置の検討を申し入れた。

支援者によると、袴田さんは無収入のため生活費が全くない状態だといふ。2013年に再審無罪となった元死刑囚が特別に年金を受給できる特例法が施行された。死刑判決確定から再審無罪になるまで未納だった保険料

を後から支払えば、年金が支給される特例措置。ただし、「死刑再審無罪者」が条件で、再審無罪が確定していない巖さんは適用外と



「袴田巖死刑囚救援議員連盟」の塩谷立会長(左から2人目)にお礼の言葉を述べる袴田秀子さん(右から2人目)＝9日、都内

を議連に申し入れた。塩谷会長は検討に前向きな考えを示した。大口善徳衆院議員(公明、比例東海)は「裁判所が捜査機関の捏造(ねつぞう)に触れたのは異例な事。検察は反省すべきで、即時抗告はやるべきではなかった」と検察の姿勢に疑問を呈した。

26. 4. 10

静岡新聞(20頁)